

【小売業】②

企業の声（日本標準産業分類順）

呉服・服地小売業	じわじわ仕入単価の上昇が見られる。
男子服小売業	冬物バーゲンも盛り上がりせず売上は低迷していますが、3月からの春物の動きに期待しております。
靴小売業	高齢化による筋力低下は健康に大きな影響を及ぼします。足と靴の役割が大切に思われます。
食料品小売業	あちこちの仕入先で食材の値上げが現実化し、大変厳しい状況になっている。
食料品小売業	売上高は増加しているが、仕入単価の上昇による価格改定分のみ。
自動車小売業	若い従業員（特に整備士）が待遇面で他社に引き抜かれていくケースが多発しており、苦慮しています。
自動車部分品・附属品小売業	昨年は消費増税前の駆け込み需要により大幅な売上増となりましたので、今期は前年同期比で大変厳しい状況にあります。（前々年比並みは確保）
二輪自動車小売業	群馬県では、高校生にオートバイや自動車に関して「免許を取らせない」「買わせない」「運転させない」のいわゆる“三ない運動”が是正された。交通安全教育推進は27年4月から本格的に教育委員会、学校、警察に加えオートバイ組合、自動車組合、保険会社、自動車学校、消防など多角的に安全を担保できるメンバーで今後の安全運転教育を推進していく意向が聞かれる。今回の交通安全条例は交通安全対策特別委員会を議会に設置することで誕生した。議会各派は初心者（若葉マーク）自動車事故がワースト1位の事故に議員立法にて対策を具体化した。
電気機械器具小売業	思った以上に悪い。
医薬品小売業	長年ベースアップなしで来ているので、人員確保の為に多少のアップを考えなければいけないと思う。
燃料小売業	昨年秋以降、原油価格の値下がりです。売価・仕入価格共に下がったが、採算は若干良化。原油価格は今年2月に底打ちし、値上がりすると値下がりをお繰り返しながら緩やかに上昇してゆくと推察しているが、製造・販売共に過当競争故に、値上がり局面での転嫁は難しい。加えて求人難・人件費増が経営を圧迫するだろう。
紙・文房具小売業	良い人材を採用したい。
紙・文房具小売業	私共の業界は3月末から4月にかけて売上のピークを迎えますが、昨年の消費税率引き上げの時ほどの駆け込み需要はないと思います。
スポーツ用品小売業	消費税の増税前から個人消費の落ち込みを感じています。同業者の廃業も多く、底を掴めない状態です。より一層の景気対策を政府にはお願いしたいです。
がん具・娯楽用品小売業	今後、円安の影響が心配される。
ホームセンター	円安の影響で仕入原価が高騰し、利益率が減少して痛い。
ジュエリー製品小売業	2月期のスタートは前年同月より上向いています。